

フッ化物応用による虫歯予防 対策事業スタート

山口



山口純子
8番議員

実施は課題克服を図る 必要がある

教育長

Q 子どもの疾患のうち最も多く占める虫歯についてこの度、熊本県歯及び口腔健康づくり推進条例が制定された。そこでは口腔衛生についての事業が予算化されたと聞いたが南関町における今後の考え方を問う。

A 教育長 子どもの健康については町の教育委員会では、各小学校長、保健主事、養護教諭、PTA代表、三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）で南関町学校保健委員会を組織して年2回委員会を開催、児童・生徒の健康保持とか疾病現状など把握して課題解決を図っている。疾病で最も多いのは虫歯、虫歯は万病のもととなる。町では各学校に歯科衛生士、歯

科医の専門家を招いて子どもたちへ歯みがき指導を実施している。予防と治療と両面から効果が上がっている。南関町の小学6年生で虫歯のない順番が県下45市町村で3位。

昨年度のトップセミナーで玉東町長が玉東町における医療費のトップを占めてきた治療費削減

を目指し子どものフッ素洗口事業に取り組んでいることを発表された。今年度から5ヶ年間県の市町村の補助事業でフッ化物応用による虫歯予防対策事業がスタート、実施に至るまでは課題克服を図る必要がある。南関町でも前向きに検討してもらいたいと学校保健委員会で要望が出されている。



る。まずは具体化を目指して学校に理解してもらうのが大事。

A 福祉課長 課の方では保健センターを中心に歯の健康づくりということで広報「なんかん」にも健康だよりで毎月掲載しており、6月4日虫歯予防デー等で進めている。口や口腔の健康を保つことは食事や会話を楽しむことで豊かな人生を送る基礎である8020運動を中心に推進している。

A 教育課長 第一保育園は平成15年度に保護者会を開き、平成16年度よりフッ素洗口を実施している。歯ブラシのブ



ラッシングが幼児にはできにくく、乳歯から永久歯に生えかわる重要な時期である。実施に当たっては方法やフッ素洗口の安全性を充分検討していきたいと思う。

おしひ 歯は重要なもの、虫歯予防することは全体の健康に大きく影響している。フッ素洗口をはじめ様々な方法があるが、学校関係、行政の中で何が歯にとってよいか検討していただき、良い習慣をもって子供たちを育ててほしい。
私たち大人も歯に関心を持ち衛生管理をしていきたい。



島崎英樹
6番議員

町民栄誉賞の創設 どうなった

島崎

町長 準備を進めている

①住民サービスの向上

Q 役所で複数の手続きをする場合、その内容に応じて該当する窓口を回るため、時間がかかるといわれる。主な手続きが一カ所で済む、いわゆるワンストップサービスの取組みを尋ねる。

A 町長 住民サービスの向上の最善の策と考える。町民の視点に立った確で質の高いサービスを提供するとともに、事務の迅速化を図り、来庁者の利便性向上にさらに努めたい。

まとめ 例えば農就センターの体育館を使用する場合、役場の経済課でチケットを買ってセンターで支払わないといけない。センターで予約と支払いができるよう改善す

②子ども医療費助成制度の拡大

Q 玉名郡市の医療機関に限り、窓口支払い不要が無料化(窓口支払い不要)が平成23年9月から県内

A 町長 県外で特に多い大牟田市の医療機関を受診した場合は、窓口払いの後、役場で助成金を請求する制度になっている。窓口無料化する

③町民栄誉賞の創設

Q 以前に一般質問し、町長は「町民の励みにもなると思う。前向きに検討したい」と答弁。その後の検討状況を尋ねる。

A 町長 確かに福岡県と連携ができれば有効に利用できる。再度、努力していきたい。

おしり 今定例会から議場に国旗が掲げられた。国難といえる今の状況を南関町も、頑張ろう日本の一員として全員野球で乗り越えなければならぬ。



A (創設は) 今後のまちづくりに大いに大切なことと考える。表彰の条件



8月9日管理型最終処分場に係る基本協定書締結。

打越 県、財団、町三者で。



打越潤一
3番議員

Q 環境アセスメント方法書から、今回の準備書の段階で、①処理する廃棄物の種類の比率、②遮水工、漏水検知システム、③集排水施設、④浸出水処理施設、⑤覆蓋施設計画など、事業計画の一部は見直されているが、これはどのような理由からか。

A 町長 県にそれぞれの変更点について確認したところ、主な変更理由としては、1つ目に、クローズド無放流型の施設構造になったこと。2つ目に、最新の県内の産業廃棄物の処理動向を踏まえた時点で修正されたもの。現時点で、より安全性を高めるため、機能が追加・変更されている。いずれの内容とも、より

安全性を高めたものに生じた各種修正であると理解をしている。県の説明では、準備書に記載されている施設構造とは最終形ではなく、今後も安全性の向上にむけ、引き続き検討を重ねることと言われている。最終的には本体工事の前段階となる詳細設計の中で決定すると伺っている。

Q 農業対策について

A 経済課長 認定農業者、担い手農



家については、規模拡大を図り、増加しているというような傾向が出ています。総体的には高齢化により自給、自分の家で食べる農家は減少しているが、意欲のある農家については増加しており、町経済課としても基盤整備を今一層に進め、農家の

Q 不能欠損額の平成22年度の町税等について、時効によるもの、滞納処分によるもの、件数。関連して、財政健全化法に基づく財政指標のうち、町債残高や将来負担する見込みの借金を加味した将来負担比率は3.7%（前年度34.2%）で、早期健全化比率を下回っている。前年度と比較して、よい結果となった要因をお尋ねする。

A 住民課長 地方税法第15条の7第4項では、執行の停止後3年、第5項では、執行停止後即時に、第

規模拡大につながるような施策を取り組んでいきたい。

18条では、消滅時効により5年経過した後に税金の納入義務はない。個人町民税は不能欠損が9件で内時効が8件、執行停止が1件、法人町民時効が1件、固定資産税が56件、内時効37件、執行停止19件。軽自動車税が56件、内時効50件、執行停止6件である。

A 総務課長 将来負担比率は、基準値が350%となっており、21年度が34.2%、約10分の1、今回が3.7%で、約100分の1になった。10倍の負担比率が減少した。将来に充てる充当可能財源という表現でいうが、基金の積立てが約5億円あまり、22年度でなされている。交付税関係で、交付税措置に還元される分ということ、臨時財政対策債並びに過疎債の70%、これを数値に表すと約10億円程度、将来への積み増しができたというところで、この数値3.7%というのが出てきている。



境田 高
2番議員

成年後見制度 支援・指導について

境田

福祉課長

予算処置を行っている

Q 去る3月議会において、南関町長等の給与、議員報酬の改定が賛成多数によって議決されたが、他の特別職も一緒に見直すべきではなかったか。同じ特別職である区長は、文書等の配布、区民の要望、耕作地の調査立会いなど、町のパイプ役として先頭に立って行政に携わり大変な仕事だと思う。他の特別職と共に報酬改定の考えはないのか尋ねる。

A 町長 区長報酬については、第3次行政改革大綱において改定したもので、三位一体改革により、交付税削減による財政の悪化が予想される中で、歳出削減を図るため、特別職の給与削減に続いて見直された。財

政状況については、その後好転しており、近隣の状況も参考にしながら適正化に努めてまいりたい。

まとめ 均衡上問題がないように配慮をすべきではないか。

Q 当町は現在約33%の高齢化率ですが、認知症などにより、判断能力が衰え、介護などのサービス、施設への入所

など、自分での対応困難が考えられる。不利益をこうむる事がないよう、成年後見制度支援、指導について尋ねる。

A 町長 成年後見制度については、地域包括支援センターの総合生活支援事業の一つであり、今までに5件の相談があつている。そのうち4件は、手続きが終了しており、1件については

諸事情により申立人がいない状況にある。どうしても不在であれば、町長が申立人となり、家庭裁判所にて手続きを行う場合もあると判断している。

A 福祉課長 助成制度については、本人の資産、所得等を見ながら検討していく。

今まで町が扶助した事例はないが、30数万予算処置を行っている。

まとめ 成年後見制度は、財産や権利を守るための重要な制度であり、町民が安心な老後生活を送るために支援、指導を進めるべきである。

Q 先月9日に3者による産廃最終処分場の基本協定書が締結されたが、町長は基本協定書に基づいて協議を得ながら地域振興対策や施設の安全性に対する議論を深めたいとのことだが、地元住民の姿がみえないようなので、もっと議論すべきではないのか。

A 町長 基本協定書では、県、財団法人及び町は、相互に連携し、周辺環境の整備など、処分場を中心とした地域の振興に努めるとしている。今後、本格的な議論を深めていくが、安全な施設であることを前提として、地域と一体となった処分場の整備が、南関町全体の役に立つものとなるよう、また地元の方々の思いを理解し県に強く要望してまいりたい。

A 住民課長 基本協定は三者で締結したものの、環境保全協定をどうするかについては、現時点までまったく白紙の状態。他県事例等も参考にして、今後相談させていきたい。町としては、基本協定書に基づいて、より具体的な安全対策等を協議していく。

おまひ この産廃建設を町づくりに生かしたいのであれば、関係地域に向き誠意を持って接すべきである。



空き家バンク紹介は7件のみ

唐杉



唐杉 純夫
10番議員

成約も含め現在進行中である

まちづくり推進課長

Q この紹介してある7件を見ると、住宅情報、宅地情報とも具体的な記述がない。その上物件の写真は外観だけで屋内の状況はわからない。集落支援員、地域おこし協力隊、交流居住のすすめ、あるいは過疎地域の集落対策についての提言、または定住自立圏構想、これら総務省管轄の諸施策と空き家バンクの充実は

Q 空き家バンク制度の進捗状況はどうなっているか。

A まちづくり推進課長
町内の空き家の状況調査を昨年の秋に、各区長さんを通じて実施している。空き家、空き店舗、住宅用地で約200件の回答があった。



A まちづくり推進課長
現在検討しているところである。

密接不離である。空き家バンクになりそうな物件をもっともっと積極的に。たった7、8件とかいう1桁じゃなくて、もっと拾いまくる必要があると思うかどうか。

Q ちよつと少なすぎると思う。この空き家バンク制度は町の重要な人口増の対策の一つでは

A まちづくり推進課長
8月の住んでよかつたプロジェクトの件数が825件となっている。

A 福祉課長 平成22年度の決算として8,452万8,000円を繰越している。そのうちの来年度以降の介護保険関係の保険給付等での支払いに備えて、基金に3,000万円を積み立てる予定にしている。

Q 介護保険特別会計予備費について今回の平成23年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)を含めて、予算残額はいくらになっているか。

A 町長 現在、担当課が一生涯懸命頑張っているが、さらに事業を進させるためには、予算化も必要になってくるかと思う。

Q 効果的にアクセスさせるための専門家を呼び、もっとアクセス数を増やすためのアドバイスを受けるなどの考えがないか。町長、どう考えるか。

A 福祉課長 22年度の繰越しについて、単純に介護保険料として試算すれば、約700円/月程度になる。

Q この8,400万円という金額はあくまで今21年から23年までの計画によって発生した予備費だ。これを来年度用に流用するのは間違っていると思う。それから、仮に8,000万円が予備費として計上されるとすると、23年度末で、それが介護保険料いくらに相当するか。

A 福祉課長 地域密着型に内示があって、本年度を行っているので、この介護保険計画には入っていないかった。

Q 補正で上がったおるものうち3,000万円を地域密着型施設開設準備に積み立てたと言うことだが、これはいつ決まったものか。これは平成21年から23年度までの期間内に算定に入っていたものか。

10月11日議会全員協議会が開催され、欠員の議会運営委員会委員に産業厚生委員会から田口浩議員が選出され、委員長に島崎英樹議員、副委員長に橋永芳政議員が選出されました。

議会運営委員会委員長に 島崎英樹議員を選出

数十年ぶりに 地元青年による大人相撲



10月23日、大津山阿蘇神社で相撲大会が行われました。100年以上の歴史があり、子どもの体力増進と住民の触れあいを目的に毎年開催、小学生50人による子ども相撲と地元青年16人による大人相撲の熱戦が繰り広げられ、東西戦、3人抜きを取り組みで賑わいました。1歳未満の12人の赤ちゃん力士は大人力士に抱かれ、お払いを受けた後、土俵入りを披露してくれました。高齢化、少子化進行の中、町行政においては、まちづくり推進課を先頭に種々の対策が講じられておりますが、住民においても気運を盛り上げる行動が必要だと思います。地元青年による大人相撲は数十年ぶりであり、赤ちゃんから大人まで、78人の力士の参加は、地域を盛り上げ、思い出作り、触れあいづくり、仲間づくりに大いに貢献して頂きました。このような積み重ねが、町の活性化、人工流失の歯止めにも貢献するのではないのでしょうか。

本山副町長 就任あいさつ



去る9月の町議会定例会におき

まして、議会の選

任同意をいただき、

10月3日付けをもって

副町長に就任いたしました。

光栄に存じますとともに、責任の重さを痛感しています。

就任いたしました以上、心を新たに、町政発展のため誠心誠意与えられた職務に務めてまいります。

町の最重要課題は、下坂下に建設予定の公共関係管理型最終処分場の問題だと思えます。この問題については、町としての方針が出ましたので、住民の皆さんの理解を得ながら進めていきたいと思います。

町では、少子高齢社会を迎え、若い人や高齢者が安心して暮らせる町づくりのため、南関町定住促進対策として、住んでよかったプロジェクト推進事業をスタートさせ、住宅取得等補助金、子ども医療費助成金、保育料助成金、学校給食費補助金、タクシー料金助成事業など18の事業を推進しているところでです。

その他、農業・商工業の振興、若い人の雇用場の場としての企業誘致など、町を取り巻く課題に職員とともに頑張っていく所存です。

皆さまのご支援を賜りますようお願いいたします。

大木議員、突然の訃報

9月21日、定例議会の会期中に大木幹夫議員が逝去されました。議員2期目の道半ば、59歳の若さでした。今期は議会運営委員会委員長として、また産業厚生常任委員会委員長として町政発展のために尽力されました。大木議員の人柄を偲び、議員一同、心からお悔やみ申し上げます。

なお、市町村議会の議員に欠員が生じたときは、繰り上げ当選と補欠選挙の規定がありますが、繰り上げ当選の規定は選挙の日から3ヶ月以内であり、補欠選挙については、欠員が議員の定数の6分の1を超える（南関町の場合は3人以上の欠員）に至ったとき、補欠選挙を行わねばならないと定めてあります（公職選挙法）。従って、この度は何れの規定も適用されませんので、11人の議員で大木議員の分まで頑張っております。

議会日誌

8~10月

主なものを載せています

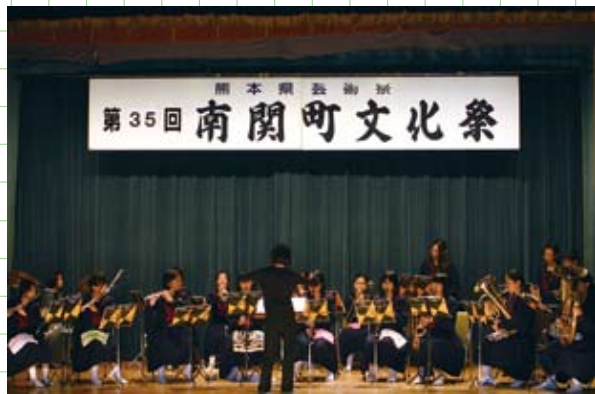
- 8月2日 広報調査特別委員会、議会全員協議会
- 3日 総務文教常任委員会
- 5日 広報調査特別委員会
- 18日 議会全員協議会
- 19日 正副議長研修会
- 25日 議員視察研修(宮崎県)
- 26日 玉名郡議会議員研修(和水町)
- 9月1日 総務文教常任委員会
- 5日 議会運営委員会
- 14日 } 9月定例議会
- ~22日 }
- 10月11日 議会全員協議会
- 10月20日 広報調査特別委員会
- 10月26日 広報調査特別委員会

議会を傍聴してみませんか?

次回の議会定例会は12月開催の予定です。
お問い合わせは議会事務局(53)1111番へ

Topic!

南関中吹奏楽部 伝統の始まり



11月3日から5日まで、第35回南関町文化祭が開催されました。踊・歌、ピアノ、日舞、謡曲、吹奏楽、琴、フラダンス、詩吟等々の発表、展示コーナーでは短歌、俳句、書道、生花、絵画、工芸等々の展示がなされ、お茶屋跡では菊花展、バラ展が開催されました。人生、出来事、想いを所作で表現する日舞やダンス、耳を通して心に訴える音楽、眼力を試されているかのごとき書道や工芸、喜悲情哀を過酷なまでに五・七・五で表現する短歌、俳句、、、花を愛で、抹茶をいただき、改めて【文化】の裾野の広さに驚かされました。

そんな中で、今回特に印象に残ったのが、南関中吹奏楽部による演奏でした。素人目にも上達のはっきりと判り、部員数も増え澁刺とした様子は、日頃の努力の賜物でしょう。南関中吹奏楽部の伝統の幕開けだと思いました。伝統は育むものです、皆で見守り応援しましょう。

ティールブレイク

編集後記



10月9日ふる里センター近くの現地で、まるごと田舎体験事業の稲刈りに参加しました。町外からの親子づれの参加者を対象としたもので、会長、経済課職員、の諸注意の後、のこ鎌で稲の一株一株を刈っていき、後で掛け干しにするために4から5株ほどを3回一纏めにして、束ねていきました。家族でのふれあい、カエルなどの生物とのふれあいなどあちらこちらで微笑ましい光景が見受けられました。中腰での稲刈り体験、掛け干しなど数十年前のことを思い出し、額に汗し、あちこちの痛みを感じながら、参加された皆さんと楽しいひと時を過ごしました。

今年の稲作の出来栄はよく収量も多かったのではと思います。皆様の家庭ではどんなだったでしょうか。稲穂に見習い、住民の皆様の目線に立って日々の努力を惜しまないように心がけたいものです。同日には芋掘りも行われ出来栄はよく、関係者の皆様の日ごろの管理、労苦に対し感謝申し上げます。お疲れ様でした。(打越)



編集 (広報調査特別委員会)

発行責任者

- | | | | | | |
|-------|-----|-----|-----|------|-----|
| 議長 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 本田 眞二 | 境 敏 | 鶴 地 | 田 口 | 井 下 | 打 越 |
| | 高 仁 | 浩 俊 | | | |